

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

慢性腎臓病患者の動脈硬化関連因子の挙動解析

1. 研究の対象および研究対象期間

医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学病院長による研究実施許可を得てから2018年12月31日まで

2. 研究目的・方法

慢性腎臓病（CKD）は末期腎不全（ESRD）の原因となるだけでなく、心血管病の大きな危険因子であることが疫学研究や臨床試験により明らかにされている。CKDの管理はESRDの進展抑制と心血管病の発症予防につながるため、適切な治療法の確立が求められる。

腎機能障害進行の重要な危険因子に尿蛋白があり、特にACE阻害薬やARBは他の降圧薬に比して尿蛋白減少効果に優れている事がさまざまな臨床研究により示されている。また、ARBはプレイオトロピック効果として抗動脈硬化などの作用を有するなど、心血管病の発症・進展にも直接的な有効性を示す可能性が報告されている。

本研究では、慢性腎臓病患者におけるARB内服に伴う動脈硬化関連因子の挙動をELISA法などで解析する。

研究期間

医学部 人を対象とする研究等に関する倫理委員会承認後、昭和大学医学部長による研究実施許可を得てから2020年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究では、既に文書で同意取得後に採取され、凍結保存された血液を用いて実施する。

4. お問い合わせ先

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属： 昭和大学江東豊洲病院 内科 氏名： 本田浩一

住所： 東京都江東区豊洲5-1-38 電話番号：03-6204-6910

研究責任者：

昭和大学江東豊洲病院 内科 准教授 本田浩一